

H21_V 「各種事例」に関する調査

調査項目 「各種事例」に関する調査

調査年次 平成 21 年度 章番号 [V]

目的

共同調査を行う上で、各種調査における各市の取り組み状況の違いや対応の違いを理解する上で、各市の人口や行政規模等が要因していることが考えられるため、基礎情報として各市の代表的な公園緑地関連指標を使用して公園緑地関連プロフィールを整理する。

概要

- ・都市指標として人口、市域面積、都市計画区域面積等の整理を行った。また、公園緑地指標として公園整備状況、緑被率の整理を行った。
- ・各市の公園緑地関連プロフィールの整理として都市指標と公園緑地指標のクロス分析を行い、各都市が有する公園緑地指標の政令市内での位置付けを探った。

結果

■ ゴミ集積所の設置に係る事例調査

- ・公園のゴミ集積所無断使用は把握していない都市もあったが、把握している都市では3都市であった。公園とゴミ集積使用に関するトラブル・問題発生状況については顕在化していない都市が多かったが3都市から具体的な回答が寄せられた。
- ・自治会ゴミ集積所等の公園敷地の無断使用の是正事例は1事例（浜松市）のみの回答であった。

■ 緑の基本計画の見直し状況、事例調査

- ・政令市19都市中、改定済の都市が8都市であり、改定予定の都市が11都市である。改定済の都市は平成18年度から21年度にかけて改定を行っており、20年度、21年度の改定が多い。改定予定の都市も今年度中から23年度にほとんどの都市が改定を予定している。政令市の緑の基本計画の改定はこの数年でほとんど終了することになる。
- ・改定の背景・理由は「合併による改定」、「目標年次経過で改定」といった要因が基本的にあるが、前計画策定から約10年が経過し、この間「緑を取りまく社会状況が激変したので改定した」、また社会経済状況、財政状況が変化し、それに併せて市の長期ビジョンを改定したので「上位計画との整合性確保のため改定」という回答が寄せられている。
- ・改定時に重視した視点については「環境問題の重視」から「厳しい財政状況等から、より実効性のある計画作成」まで多面的な回答が寄せられたが、「市固有の課題解決」が最も多かった。
- ・改定時の考え方については「計画の実行性確保」という意見が多数寄せられた。

■ 都市施設等の屋上緑化の事例調査

①公園等の屋上緑化

下記の7事例を収集した。

- ①アメリカ山公園（横浜市）、②旭山記念公園（札幌市）、③五天山公園（札幌市）、④長居公園（大阪市）、⑤アイランドシティ中央公園（福岡市）、⑥（仮称）西大寺南ふれあい公園（岡山市）、⑦西京極総合運動公園（京都市）

②公園施設に参考になる大規模建築等の屋上緑化

下記の11事例を収集した。

- ①勝どき六丁目第一種市街地再開発事業（東京都）、②オーチャードプラザ/オーベルグランディオ川崎（川崎市）、③オルトヨコハマ（横浜市）、④民間立体駐車場（岡山市）、⑤新潟市市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）（新潟市）、⑥浜松子ども館（浜松市）、⑦大阪市役所本庁舎（大阪市）、⑧東北電力ビル（仙台市）、⑨日野病院、⑩小倉井筒屋本館（北九州市）⑪富士電機システムズ(株)川崎工場（川崎市）

■ 広場公園の事例調査

下記の16事例を収集した。

- ①大通公園（札幌市）、②久屋大通公園（名古屋市）、③大通り公園（横浜市）、④中央公園（千葉市）、⑤下石井公園（岡山市）、⑥（仮称）千早並木広場（福岡市）、⑦シンボルプロム

調査項目 「各種事例」に関する調査

調査年次 平成21年度 章番号 [V]

ナード公園（東京都）、⑧堺町公園（北九州市）、⑨元町来た公園（神戸市）、⑩与野本町駅前公園（さいたま市）、⑪向河原駅前広場公園（川崎市）、⑫新川緑地（浜松市）、⑬久世高田第三公園（京都市）、⑭新金岡町ブリック公園（堺市）、⑮ラクト山科公園（京都市）、⑯梅屋広場公園（京都市）

■ 緑地保全及び緑化推進制度体系に関する事例調査

緑地保全に係る各市の制度適応の考え方や緑化推進のための助成、優遇制度等について、先進都市の取り組み状況について調査を行った。

①川崎市

○保全配慮地区の設定

○自然的環境の保全への配慮

②流山市「グリーンチェーン認定」

課題

調査結果の反映等

キーワード 公園緑地プロフィール情報、ゴミ集積所、緑の基本計画、屋上緑化事例、広場公園、緑地保全、緑化推進制度

事例公園等